

果樹カメムシ情報第1号

果樹カメムシの飛来数は6月末までやや多い

平成24年4月4日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 平成24年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果

果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシの越冬成虫密度調査を県内15地点で行った結果、平均越冬成虫密度は0.80頭/m²、発生確認地点率は67%で(表)、それぞれ過去10年で多い方から5番目、4番目でした。越冬成虫密度の年次変動は5～6月の予察灯累積誘殺数の年次変動の予測に利用できます(図1)。

表 チャバネアオカメムシ越冬成虫密度(H24年)

| 調査地点 | 成虫密度 (頭/m ²) |
|-------------|-----------------------------|
| 幸田町大字須美北山北 | 1.0 |
| 幸田町大字須美北山東 | 0.7 |
| 新城市大海 | 3.3 |
| 新城市市川 | 1.0 |
| 新城市中宇利 | 3.3 |
| 新城市稲木 | 0.0 |
| 豊橋市嵩山 | 0.3 |
| 豊橋市石巻中山 | 0.0 |
| 豊橋市石巻菰平 | 0.0 |
| 豊橋市石巻平野 | 1.3 |
| 豊橋市小野田 | 0.3 |
| 豊川市平尾 | 0.0 |
| 豊川市千両 | 0.0 |
| 豊川市足山田 | 0.3 |
| 豊川市金沢 | 0.3 |
| 平均 | 0.80 |
| 発生確認地点数(割合) | 10 (67%) |

2 スギ・ヒノキ科花粉総飛散数と越冬成虫の予察灯における誘殺数の関係

スギ・ヒノキ科花粉総飛散数が多かった年の翌年は、5～6月のチャバネアオカメムシ越冬世代成虫の予察灯誘殺数が多くなる傾向にあります。平成23年は、スギ・ヒノキ科花粉総飛散数が過去10年で最も多い年でした(図2)。

3 飛来の予測

今年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度および前年のスギ・ヒノキ科花粉総飛散数から、今年6月末までの果樹カメムシ類の飛来数はやや多いと予測します。

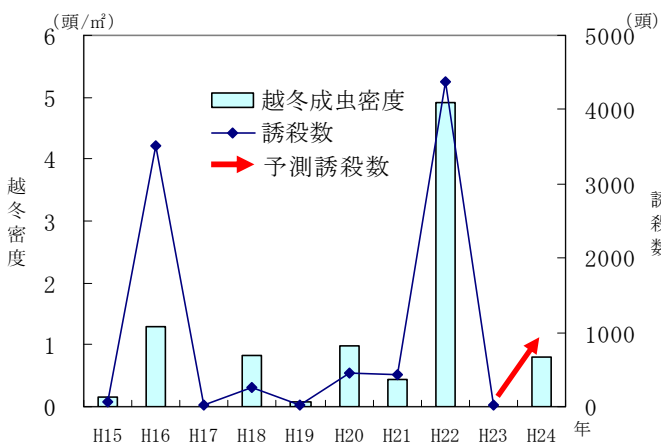


図1 チャバネアオカメムシの平均越冬成虫密度と予察灯誘殺数(豊橋・新城5～6月の合計)の関係

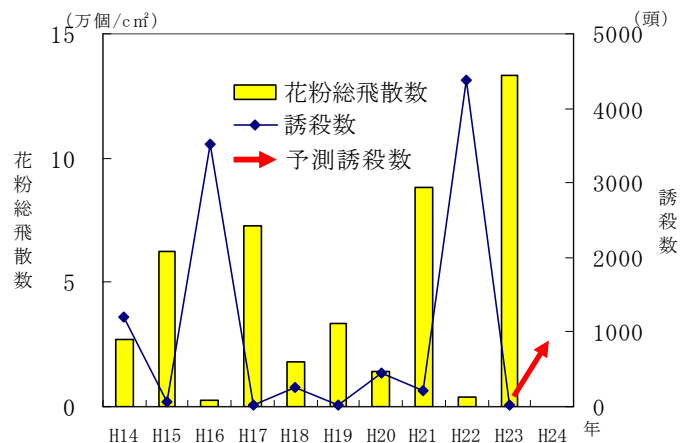


図2 スギ・ヒノキ科花粉総飛散数とチャバネアオカメムシ予察灯誘殺数(豊橋・新城5～6月の合計)の関係
(花粉総飛散数:愛知県衛生研究所調べ)